

令和 7 年度第 1 回タウンミーティング 会議録

(24 日 質疑応答部分)

日時：令和 7 年 5 月 24 日(土) 10:30～12:00

場所：K'BIX まえばし福祉会館 多目的ホール

参加人数：108 人

参加者 1) 鉛製給水管の取替工事について

要望で申し訳ないんですけども、前橋は水と緑と詩のまち、自然災害の比較的少ない、住むのに安心安全に対する信頼度の高い都市だなと感じていました。しかし、鉛製給水管がまだ使われているということをご存知ですか。私は 1 年前に初めて知ったのですが、私が住んでいるのは城東町一丁目ですけれども、その界限の人または前橋旧市街に住んでいる方に聞いてもみんな知らないということなのですから、城東町一丁目は今から約 38 年前の前橋市の区画整理で鉛製給水管を使用されました。鉛製給水管と言っても道路に走っている大きい水道管じゃなくて、各家庭に引き込む給水管のことです。当時はそれが工作しやすいということで、それを使っていたそうです。

平成 2 年に区画整備があったのですが、平成 3 年からは健康上の理由でもう使用しないということになっているそうです。だから、うちは 38 年間それを使っていました、何も知らなかったのですが。水道局の人の話によると耐久年数は 40 年程度だということです。そこで、鉛製給水管の取り替え工事は今年度の予算にも入っているそうなのですが、私的で申し訳ないのですが、うちの住んでいるところは先送りで令和 9 年度に予定していますということなのですが、他にもいっぱいそういうところがあると思いますので、ぜひ命とか健康とか不安を払拭してもらうために、その取り替え工事について、優先課題の 1 つとして入れていただければ不安が取り除けて住みやすくなるのでよろしくお願いします。

市長)

鉛製給水管のことを紹介していただいて、ありがとうございます。水道関係のインフラの整備は道路の下のことなので、見えないからなかなか分からない人が多いと思います。鉛製給水管ではないのですが、今年の1月に埼玉県で下水道管の事故があってから、多くの市民の皆さんが前橋は大丈夫ですかと、下水道管は安全かなとか、もしそういうところに限られた予算を使っていくのであれば、見えないけれども大事なインフラのところにしっかり使ってもらいたいという風にお伝えいただく方も増えていまして、皆さんの意識がだんだん今まで見えてなかった大事なことに意識が向いていただくというのは、すごく私たちもありがたいなという風に思っています。

お話いただいた鉛製給水管については、取り替え工事の助成も行っているのですが、それぞれの家庭に協力していただくこともありますし、市としてもですね、これからお話があったということをしっかり、また検討していきたいなという風に思っています。貴重なお話を本当にどうもありがとうございました。

参加者2) ①選挙活動の見直しについて

②東洋医療の推進について

市長から全国に発信していただきたいことが2つあります。1つが選挙の掲示板の廃止。それとウグイス嬢と言われる遊説カーの廃止。これは外から見えて日本だけの仕組みです。計算してみたら前橋に600か所あって、3800万の税金、知事、市長選などを計算すると2億2000万、全国で5000万以上の無駄な税金が使われているのを誰1人直そうとしていません。これを全国一挙に発表してほしい。

2つ目が西洋医療と東洋医療の混合治療の推進を前橋にお願いしたい。市長の事務所の女の方も知っていました。事務所の北側に診療所があって、私の妻が突然倒れて日赤に運びました。2ヶ月の治療で点滴状態、その時に友達が訪ねてきて気功の話を聞いて、日赤行って女房をおぶって気功の先生のところに連れて行って、1時間で治っちゃいました。内容は体

の中に電流が流れていて、それがショートしていてホルモンが分泌しないということです。健康第一なのでツボの本を持ってきました。終わったらプレゼントしたいです。役立ててください。

市長)

ありがとうございます。選挙の話が出ましたが、難しいというか、皆どう思っているのか、私もちょっと聞いてみたいのですが、選挙の時の選挙カー正直うるさいなと思ってる方どのくらいいますか。結構いるんですよね。

私も立候補して選挙運動をしている立場なので、それは思うところがあるのですが、今の公職選挙法のやり方に則って選挙をやるという風になると掲示板を貼り出して、そして選挙期間中は候補者は選挙カーで名前の連呼しかしちゃいけないというルールになっているので、皆さんにうるさいかなと思いつつも、やらせていただいているということになっています。これが例えば、選挙カー回さない、うるさくしない、でも有権者の方々がそれぞれ判断して投票に行ってくれるとなると、立候補する側も選挙カー回さなくてもいいのかなとなってくるのですが、現状はすいません。これは後で意見があったら皆さんの意見を聞きたいと思います。

投票率も非常に低いですし、実際に選挙の期間に選挙カーで回っていて、選挙があったんだという風に選挙カーに会って初めて、選挙があったことを認識してくれる方もいるので、非常にそのあたりはね、悩ましいとこだなと個人的には思っています。ただ、お話があったような公職選挙法の仕組みが昔の時代から変わっていて、インターネットとか SNS とかも出てきているので、昔のやり方のままでいいのか、というのは国でも話題になっているところなので、今後ですね、話す機会があれば新しいやり方が何かないかなとか、選挙カーを回さないという方法が新しく出てくるような話し合いというのもしていけたらと思っています。

掲示板もそうなんですよ。張り出していますけれども、あの掲示板で顔と写真と名前を見て、初めてこういう人が立候補しているのだというのを認識してもらっている方もたくさんいるので、それを失くしてしまって、どうやって皆さんに判断材料を与えるのかというの

は、別の手段を何を考えるかというところも出てくるので、これからそういった議論もみんなできていけるといいのかなと思っています。ただ同じようにお金がかかっているから、その選挙のお金を少し減らせないかなとか、選挙カーがうるさいのはなんとかならないかなというのは皆には思っているところもあると思うので、今後もですね、選挙をどうしたらいいという話はできたら嬉しいなと思います。

2 つ目の東洋医学の関係については、今の診療報酬、国の医療の仕組みからしてみると、病院に行って医療を受ける時は西洋医療が一般的になっていますけれども、ただ予防医療だとか、東洋医学についても注目をされているところなので、混合診療を推進というのはどういう風に国に投げかけていったらいいのかなというのがあるのですけれども、頭の中には入れさせていただいて、どういった形で発言ができるのかというのを考えさせてもらえたらなと思います。広い視線で提言をいただきまして、どうもありがとうございました。

参加者 3) ボランティアしやすい環境づくりについて

ボランティアの件でお伺いしたいです。前橋にもボランティアが各種ありますが、そのボランティアで働いていらっしゃる方に対して、前橋市としてどのような政策、それからボランティアをしやすい仕組みというのがあったら教えてほしいです。私が、傾聴ボランティアとかオレンジパートナーといったボランティアをやってみたいなと思っていて、前橋市としてはどのようなことをやっているかお伺いしたいと思います。よろしくお願いします。

市長)

ありがとうございます。ボランティアをしたいという嬉しい発言を頂きました。地域の皆さんにボランティア活動、様々な活動を協力していただけると非常に皆が助かりますので、また、ボランティアも生きがいに繋がりますので、推奨しているところになります。ちなみに、今日参加していらっしゃる方でボランティアやっているんだよ、という方どのぐらいいらっしゃいますか。結構多いですね。それぞれの地域であったり、あるいはテーマごとにですね、いろんなボランティア活動をやられているので、そういったところに皆さんに協力してもらえたらなと思っています。

前橋市の取り組みとしてみると 1 つはですね、元気 21 の中に M サポという場所がありまして、そこにボランティアの団体の皆さんに登録をしてもらっています。なので、M サポに行っていただけると、どういう団体が活動しているのか、一緒に活動している仲間を募集しているので、そこに行っていただくと市内のボランティアの状況というのが一目でわかるようになっているので、ぜひ活用していただけたらと思います。M サポはですね、定期的に交流会というのもやっていて、M サポコモンズは元気 21 の 1 階で、月に 1 回皆さんが集まって交流する会というのをやっているの、そういうところにふらっと行っていただくと、またいろんな方と繋がったり、こういう活動しているのだなというのが分かると思いますので、ぜひそこも使っていただけたらと思います。あとはそれぞれのお住まいの地域で、町内の中でもいろんなボランティア活動をしていると思いますので、是非どういう活動しているかというのを聞いていただけるといいかなという風に思います。とてもいい質問をありがとうございました。

司会)

先ほどご紹介した、M サポコモンズは、誰が来ても大丈夫でつながる場・居場所といった所なのですが、第 4 木曜の午後 6 時 30 分から元気 21 の 1 階のにぎわいホールでやっています。今日は M サポの職員もいるので、帰りに聞いていただければと思います。

参加者 4) 公園の樹木と街路樹について

公園の木と街路樹の整備についての質問です。私の住んでいる地域は街路樹があって子供の通学路もあるので木陰になったり、夏は蝉が鳴いていたり、とても自然に恵まれていて感激していたのですが、最近街路樹はほぼ全て伐採され、アスファルトの照り返しで子どもたちがものすごく暑そうに歩いているのも見えて苦しくなることもあるし、暑くて蝉も来なくなってまさに無言の夏となってしまいました。

また、街路樹だけではなく、公園の樹木（鶴が谷町大公園・鶴が谷町小公園）もたくさん伐採されていて、今までどんぐりがたくさんあって子どもと拾っていたのがなくなったりし

て、緑が無くなってきたなという風に感じています。樹木の年齢はあるかと思いますが、伐採後の植樹はしないのでしょうか。よろしくお願いします。

市長)

ありがとうございます。公園が多くて緑が多いというのは、本当は前橋の財産のはずなのですけれども、地域によっては今、仰られたように樹木の年齢で伐採をしていたり、あとは地域の方々から、街路樹の管理が大変なので、切ってもらいたいというような要望があると切ったりすることもあるのですけれども、もしお住まいの地域で子育てしている方々から木陰がないと子供たち遊べないよねとか、公園はみんなで管理するから、木を植えたいなというような声があればですね。ぜひ、そういった声も地域から寄せていただけるとありがたいなという風に思っています。後で具体的な公園の場所を教えてもらえると嬉しいなと思います。

ただ、管理は誰かがやらなきゃいけないところになってくるので、行政でやるという事になると当然そこは費用もかかってきますし、みんなが協力してやれる形というのが作れると一番理想的かなと思いますので、ぜひ一緒になって考えていただけると嬉しいなと思います。公園は皆さんの憩いの場になってるので、同じような意見をたくさん頂くことがあります。特に桜がクビアカツヤカミキリという虫の影響で食われちゃうと、穴が開いちゃうので切ったりするんですけど、せっかくの綺麗な桜を何で切るんだ、と皆さん思われますし、公園もですね、そう意味ではやっぱり綺麗に整備していきたいんですけど、みんなでどういう形が続けられるかというのを考えていきたいなと思います。はい、どうもありがとうございました。

参加者5) ふるさとを感じられる前橋駅舎と駅前広場について

自然と環境、先の方と似たようなことを話します。自然ですね、環境が整備されるということで、道路、それからアスファルトは冷たくて、自然が破壊されるような感じと考えております。それと共に、前橋駅の駅舎について、私が学生の際は利根川を渡りまして、左手に妙義山、赤城山を見ながら来たものです。で、前橋に来ますと、ふるさとに帰ったという安

心感があります、でも今はですね、気づいたら前橋駅がコンクリートです。昔は噴水があって、夏になるとデートしたりとかちょっとした安らぎがありましたが、悲しいことに駅舎のコンクリートを見るとふるさとを全然感じません。

ぜひ市長に、駅舎の見た感じを、ふるさとを感じるための駅舎だと思ってますから、そういう感じで環境が、だいぶ木の環境が無くなってまして、駅舎を見る度に私はがっかりしていて、これを強く言いたかったので、ちょっと意見として言います。よろしくお願いします。

市長)

ありがとうございます。前橋駅の木駅舎というのは知っている方はどのくらいいるんですかね。結構いらっしゃいますね。私はちょっと今の駅舎になってからしか訪れてないんですけども、でもいいですよ。昔のそういったお話が聞けると、やっぱり前橋はみんなに駅も愛されていたんだとか、噴水があってデートしたんだなという話が聞けるのは嬉しくなりますよね。

駅舎に関しては、今の形からなかなか元の駅舎に戻すというのは難しいですけども、ただ、少し緑が少ないかなというのは私も思っていて、もう少し緑を活かせるような何かができないかなというのは考えたいなと思っています。今、バラ園の方とですね、前橋駅が連携をされていて、せっかく前橋水と緑と詩の町でバラの町なのに前橋駅にバラがないとちょっと寂しいというようなことで、イベントがある時には駅にですね。バラを飾ってもらったりというのをやっているんですけど、そういう意味では緑を飾る機会を増やしたり、あるいはさっきも出ましたが、農業が前橋はすごく盛んなので、農産物のマルシェみたいなのが、もう少し駅前でできるといいのかなとか、いろんなことをまた皆さんで考えていけたらなと思うので、前橋駅に対するすごく温かい思いを聞かせていただいて、どうもありがとうございました。

駅前がね。やっぱり北側もそのケヤキ並木がすごく綺麗だというのが、前橋は街の良さかなと思っていて、そういった風情だとか、前橋らしさというのも、市民の皆さんもすごく大事にしていると思うので、これから色々、まちづくりも進んでいきますけれども、前橋

らしいというのを大切にしながらやっていけたらなと思います。

参加者 6) 空き家問題について

空き家問題についてなんですけども、私の母が実家の方を取り壊して売ろうかなと思ったんですけども、よくよく見てみると、助成金のところで、前橋市は 25 万円、太田市は 50 万円、高崎市が 100 万円というところで大きな差があるなと思ひまして、その話を家族にしたところを 10 歳になる息子は、そんなだったら家を継がないで他の所に出ていくよというような話をされてしまっているんですね。市長の方は子育ての世帯について力を入れているようなんですけども、空き家問題についても、子育てのような長く住めるような環境作りというのは必要なかなと思ひまして、空き家問題について、質問したいなと思います。

市長)

ありがとうございます。空き家が皆さんの周りにも増えているのではないかと思います。でも今質問してくれたようにですね、空き家にならないようにどうしたらいいかというのを考えていただいている時点ですごくありがたいですし、こういうことがあればもっと活用できるよねとか、それこそ次の世代にも空き家の問題について話をしてもらっているというのはすごく心強いなと思います。これ、空き家はやっぱり空き家になって管理している人もわからなくなってしまうと一番困りますし、そういう空き家が皆さんが住んでいる地域に増えてきてしまうと、防犯上も危なかったり、最近は野生動物がそこに住み着いて、衛生的な問題が起きたりすることもあるので、空き家問題は空き家になる前に解決をしなきゃいけないものだと思います。

今お話があったように、空き家のリフォームだとか、解体の補助金が増えると活用しやすいのか、あるいは何か違う仕組みがあると、もっと物件が動きやすいのかというのは、皆さんからもこれから意見を聞いて考えていきたいなと思いますけども、とりあえず今太田と高崎の事例は把握させていただきましたので、担当ともですね、どうしたらいいかなというのは、話し合いをしていきたいと思っています。

これは、前橋全体の土地の利用にも関わってくる結構大きな問題だなと私は思っていました、話が進んでくと、皆さんこう3世代同居するような世帯に戻してもいいんじゃないかなとか、それぞれが独立してお子さんが育った時にみんな家を建てていってしまうと、結局それが将来どうやって引き継ごうとかみんな空き家になってしまうんじゃないかとか、家がだんだん郊外に広がって行って、インフラの整備が大変になったり、農地と住宅の境目がわからなくなってしまったりと非常に難しい問題に繋がってくるので、今後の土地利用を含めて、空き家対策というの、今まで以上に考えていかないとという風に思っているテーマであります。皆さんに共有していただいて、どうもありがとうございました。

前橋に移住したいという方の中で、良い空き家ありませんかという相談もあるんです。ボロボロになって何年も使われていなくなる物件じゃなくて、空き家になりたてぐらいのいい状態で移住者の方とかにも繋げれるようになるといいのかなと思うんですけど、それはね、やっぱり所有者の方と連絡が取れる状態にしておくとか、ちょっとした仕組みづくりが必要になってくるので、いろいろ考えていきたいと思います。

参加者7) 副市長のあり方について

さっきの市長のアンケートで市長に会いに来ましたと手を挙げたんですけど、本当はですね、猪俣副市長に会えると思って来たんですよ。何が言いたいかというと、副市長ご苦労様ですと、尚且つ大変ですねと言いたいんですけども、もう一人副市長さんいらっしゃるの合わせて申し上げたいと思いますが、猪俣さんには大変失礼なんですけども、今全国の市長は副市長に女性を選ぶということが流行りですよ。もう副市長を女性にしとけば、私は男女共同参画をフルにやってます、という顔ができるんで。そういう理由とですね、猪俣さん、本当にかわいそう。ともかく全国で数少ない女性市長頑張ってるんですよ、はっきり言わせていただくと、昼行灯なんです。目立たない、昼行灯とは言いながらですね、夜物置に荷物出しに行く時に懐中電灯が無いとすごく困るんですよ。

それで副市長の仕事、敢えて言わせていただきますと、右手に鞭を持って、誰に使うかというと職員に使うのではなくて、市長にお前もうちょっと突っ込めよ、という時に鞭を入れる、あんまり突っ込みすぎの時はですね、手綱を思い切り引く。これが副市長の仕事なんです。これができないと副市長はダメなんです。ところがですね、全国の副市長、これが実

際の数、県市町村とありますんで、いっぱいいるんですけども、市長の 1 と言ったことを 5 にして部下を叱りつけるというのがいっぱいいるんです。これは本当に全国に多いんですよ。今の鞭と手綱の話と別にですね、職員の中で市長に対して、市長が何か言ってることをですね、部下に対して必ずしもそうでもないよと言えるのも副市長だけなんですよ。

市長)

副市長へのエールいただきまして、どうもありがとうございます。最初に前橋市ですね、副市長が 2 人いまして、1 名は細谷さんという方、今日来てますので紹介します。去年の 4 月から副市長をやっていただいている、今お話に出た猪俣さんという方に 4 月から 2 人目の副市長ということでついでいただきました。女性の方になりますけれども、今心配していただいたんですけど、私は女性だからと言って、猪俣さんをお願いしているわけではなくて、やっぱり前橋市のこれからを一緒に作っていく中で、どの人が適任かなという風に考えて、選んだ人が、たまたま女性だったということになります。なので、女性だからという風言われることとかもあるんですけど、そうじゃないよというのは伝えているところになります。

実は前橋市はですね、女性の登用というのを本当は進めていきたいんですけども、なかなか管理職の割合は他の自治体に比べても多くはないんです。20%ぐらいで高崎とか、太田とかの方が多んじゃないかなと思っているんですけども、やっぱり女性だから選ぶよというのは少し違うかなと思っていて、適材適所で選ばれた人は男性も女性も活躍できるという風なそういう組織が本来正しい姿だろうと思っていますが、今までなかなかそういったポジションに女性が来ていなかったのも、そもそも適任、課長とか部長になる女性の母数がまだまだ少なくて、まだ数は増やせていないところになります。

あと 10 年くらいするともっと女性管理職増やせるかなと思うんですが、今私の方で考えているのは、数が増えないにしても、適材適所でこの人出来るよねというのは女性も男性も関係なく配置しようと考えていて、そういう意味では副市長が女性というのも適任だねということで選んでいますし、今年ですね、議会事務局長も女性の方にやってもらっているんですが、それもメンバーの中で任せられる人というのを選んで、たまたま女性だったということになりますし、どうしてもですね、女性部長って、福祉とか、健康とか、子供のところに偏りがちなんですけども、そうじゃなくて、性別に限らず、この人に任せられるという

ポジションにつけていくというのは今やっているの、ここだけは誤解のないようにお伝えしたいなと思っています。

あと、副市長はですね。私にも厳しいんです。職員に一番怒られてるのが私じゃないかなと思うんですけども、そういう風通しの良い組織っていうのを、今前橋市役所の中では作ろうという風に思っているの、これはもう就任した当日、初日からずっと言い続けてるんですけども、几帳面で仕事をしないほしいというのを言っています。市長が言ったからだとか市長がこう考えてるからという目線で仕事をするのではなくて、他には、市役所の今までの慣例で仕事をするのでもなくて、市民目線で仕事をするのを大事にしましょうという風にはずっと言い続けているので、市役所の中でも私がいくら言っても違うじゃないかと怒られることはありますし、市長はこう言ってるけど、もっとこうした方がいいんじゃないかという風な提案がどんどん出てくるように今なっているの、今日細谷さんもいますし、猪俣さんもよくですね、こっそり叱ってくれるので助かっています、ありがとうございます。

参加者 8) 介護問題について

介護問題についてお伺いしたいと思います。私は実家に 90 歳を超える祖母がおりまして、その祖母を 70 歳過ぎた難病を患う父が看ているという状態なんですけども、そういった中で母も病気を患いながら父をサポートしているという状態です。私自身会社で働いていて、家も別なので中々見に行くということも出来ないんですけども、これからの高齢化が進む中で老老介護というのは免れられない問題かなと思っているんですけども、何か対策とかお考えであればお聞かせいただきたいです。よろしくお願いいたします。

市長)

ありがとうございます。働いている現役時代も子育てだけじゃなくて、介護も重くのしかかっていて、皆さん不安に感じているところがありますし、親の立場の皆さんもなるべく子どもたちに迷惑かけないようにというので、自分たちで何とかしなきゃとか、老老介護を頑張っているご家庭もたくさんあるという風に思います。介護保険制度でいろんなサービスをもちろん皆さん使っていただいて、そういうものを利用して頂いていると思うんですけど

も、やっぱり、安心して自分が生まれ育った地域で過ごしていくためには、個人の世帯だけとか、ご家族だけで支えるというのは限界があるだろうなと思っていて、そこで大事になるのは、私はやっぱり地域の力じゃないかなという風に思っています。

地域で介護サポーターとか介護予防に取り組んでいただいている方もいますし、今は町社協というのが立ち上がって、そういった困ってることがあれば、お互いに何か助けられなかなということ動き出しているところはたくさんありますので、みんなで隣近所を支え合えるような、子供が遠くに住んでいても大丈夫だよ、うちの周りはみんな支え合っているから大丈夫だよと、言えるような地域が作っていけるといいかなと思っているところであります。

頷いている皆さんは介護のサポーターとかになっていただいたりとか、地域で取り組んでもらっているところかなと思うんですけど、介護サポーターになってるよという方いらっしゃいますか。ありがとうございます。割とその住んでる地域で介護サポーターたくさん作ってみんなで支え合おうというのは今進めているところもありますので、そういう広がりが出てくると、みんなの安心に繋がるかなと思います。カチとした制度を作ろうとか、行政がこういう枠を作ろうというとなすごく難しくなってくるんですけど、そうじゃなく、やはりここは人の力が私は大事かなと思っていて、自治会とか地域づくりとか、本当に隣近所の関係をみんなで作っていくというのが、何かあった時の一番の支えになるなと思います。

介護もそうですし、子育ても、家庭で孤立しがちなところこそ、周りの人がしっかりサポートできるような仕組みを作ったり、災害の時もそうですよね、いざという時に、隣の人と一緒に避難しようとか声をかけられるような、そういった地域をみんなで作っていくということが大事になってくると思います。具体的な答えじゃなくて申し訳ないんですけど、そういった地域づくりをみんなでしていけたらなという風に思っています。ありがとうございます。

参加者 9) 障害者雇用について

前橋市内で働いている者です。私は脳に障がいがあります。障がい者雇用に関すること

ついて何か聞かせていただけたらと思います。

市長)

ありがとうございます。前橋市ですけども、先ほども少し紹介したように障がいがある人もない人もですね。一緒に共生できるような社会を作っていきたいと思っています。なので、その中でやっぱり障がいのある人も働く場があって、自分で収入を得て生活ができるということはすごく大事なことです。障がいがある方の雇用というのも積極的に取り組んでいるところになります。行政としても、障がい者雇用をやっていますけれども、やはり多くは民間の企業で働く方が多いので、民間の企業の皆さんにも障がいのある方の雇用というのを協力いただけると嬉しいなという風に思っています。

その中でも感じているのは障がいの種類というのがいろいろありますよね。身体障がいの方、車椅子の方だったら、スロープをつけていただいたり、机の幅を広くしていただいたりすることで、働きやすい環境というのを作りやすいと思うんですけども、例えば聴覚障がいの方で手話のコミュニケーションが必要になるとか、視覚障がいの方が働くにはどうするか、それぞれの障がいのある方に合わせて、みんなの配慮をしていく必要があるので、そういったもう一步のやさしさがたくさん生まれてくると、みんなが働きやすいところになるのかなと思っています。

ご質問いただいた方は脳の障がいということで、一見すると障がいのある方という風に分からないことがあるかと思います。そうすると一緒に働いてる方も、普通なのはどうしてこれができないのかという風に言ってしまう、なかなか理解されない障がいというものもあるので、内部障がいだとか脳損傷だとか、理解されない障がいを持っている方も私たちの周りにはたくさんいるんだよ、そして一緒に働いているんだよというのを、皆さん1人1人に知ってもらおうということがすごく大切かなと思っています。なので、そういったみんなと一緒に働ける環境をこれからも作っていきたいなと思っていますので、貴重なご意見をいただいてもありがとうございます。

参加者10) 岡本太郎の太陽の鐘について

タウンミーティングが始まる前の映像ですが、光の関係で下のテロップが白く、判読できない部分がありました。映像の最後に岡本太郎の鐘が出てきましたよね、今大阪で万博やっていますが、私も 55 年前に大阪万博を見に行った経験があり、感動しました。前橋にもあのような素晴らしいものがあるというのを再認識しました。

2、3 回市の方に質問しているんですけども、あまりにも木が茂りすぎて、鐘が見えない。世界的な芸術家の作品が見えないというのが非常に残念なので、有名な方があの公園を作ったらしいんですけども、ぜひ鐘がいつでも見られるように整備していただけたらなと思います。

市長)

前橋の広瀬川、諏訪橋の南のところに太陽の鐘というのがあるんですけども、実物見に行ったことある方はどのぐらいいらっしゃいますか。ありがとうございます。もし街中に行かれる機会があれば見ていただきたいと思います。今、ちょうど茂みになってきているんですかね。コンセプトとして、森の中に隠れている、敢えてあのようなデザインにしているということなので、隠れているのがいいんだよという方もいればですね、せっかくの岡本太郎さんの作品なんだから、もっと見えるように PR した方がいいんじゃないかという意見もあったりするので、それはどちらの意見もあるなという風に思っています。

いずれにしても、ここにこういった素晴らしい物があるんだよ、というのをまだ知らない市民の方も多いので、市民に限らずですね、いろんな方に知っていただいて、見ていただいて、今度ですね。6 月のいつだったかな、鐘がつける日があるんですよ。平和の鐘を鳴らそうというので、太陽の鐘をみんなで突こうというイベントもありますので、そういう時にですね、皆さんに来ていただいて鐘を知ってもらえたらなと思います。そこで見てもらって、もう少し見えるように全部の木を切らなくてもいいけど、見えるようにしてもらいたいとか、これはこれでいいんだよという意見がたくさん出てくれば、次の整備に繋がるかなと思いますので、まずは皆さんに知ってもらって、見てもらいたいなと思います。私は万博行ったことが無いけれども、太陽の鐘のお話が聞けて本当に嬉しいなと思います。ありがとうございました。

以 上